

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年05月18日

計画の名称	交流の拠点となる都市公園の整備												
計画の期間	平成29年度～令和02年度（4年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	みよし市												
計画の目標	三好公園は市のほぼ中央に位置し、豊かな水と緑を有した良質な環境は市のシンボルといえる存在であり、市民の交流拠点、スポーツ・レクリエーション拠点、親水空間拠点、緑のシンボル空間として多くの市民に親しまれてきたが、既存施設の老朽化もあり、新たな施設を含め全体的な整備が求められている。そこで既存の専用施設や広場空間と一体的な利用が行えるように、公園空間を全体的に再整備することにより、市のシンボルとなる公園を目指します。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	125	A	125	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	三好公園屋外体育施設の利用人数の増加 三好公園屋外体育施設の年間利用人数＝現況値：平成27年度年間利用人数、最終目標値：令和12年度年間利用人数	H29当初 71656人	人	R2末 79200人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	みよし市	直接	みよし市	—	—	都市公園事業（三好公園）（A-1）	園路整備等 A=0.9ha	みよし市	■	■	■	■		125		—	
												小計						125		
												合計						125		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
みよし市において目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い事後評価を実施	令和3年5月
	公表の方法 みよし市のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本事業によって、公園施設の整備を図った結果、新型コロナウイルス感染症対策に伴うイベント中止等の影響はあるものの、事業前に比べて屋外体育施設の利用者数の増加が見られ、公園利用者の利便性向上や公園の魅力向上に寄与している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	三好池周辺の園路を利用するイベントとして、例年では三好池まつりや桜マラソン等、全市的な参加を見込んだイベントが継続的に開催されているが、本事業により整備された公園施設の一部が供用開始された平成30年以降は、行政区主催のウォーキングイベントが開催されるようになった。 利用者からは、本事業の整備によって「明るく環境が良くなった」「三好池の外周道路を散策する時、中間地点のトイレ増設で大変助かっている」という意見があり、整備による公園利用環境の向上が評価できる。

○特記事項（今後の方針等）

安全で安心して利用できる公園施設とするため、老朽化した公園施設の計画的な更新や休憩施設整備等を継続して実施していく。
 みどりと景観計画（緑の基本計画）で示している「既存樹林地等の良好な自然環境を活かした安全安心に楽しめる憩い・ふれあい機能が充実した公園整備の推進により、市を代表する総合公園の機能充実」を計画的に図っていく。

